

ひまわり

令和6年11月号



↑カラー版はこちらから

『色』

校長 門脇 伸也

山暮れて紅葉の朱(あけ)を奪いけり (蕪村)

11月下旬からようやく秋めいてきました。短い期間の秋ですが木々は赤、朱、黄と紅葉の美しさを見せています。冒頭の与謝蕪村の句からは、日が暮れて暗くなり木々の紅葉が見えなくなって、視界が明暗だけになった情景を思い浮かべます。

今回は、「色」をテーマにして、蕪村の句を選びました。きっかけはある生徒との会話です。「昨日（日曜日）は何処へ行ったの？」と尋ねると、「あ・か・い・も・み・じ・を・み・に・いっ・たー」と、一語一語一生懸命に伝えてくれました。それを聞いて、親と子が、光に照らされた真っ赤なもみじを見たり手のひらに乗せたりして、笑っている光景が頭の中に浮かびました。

ところで、子どもは何歳頃から色の理解をし始めるのか御存知でしょうか？生後2、3ヶ月頃には赤・青・緑色が見え始め、生後半年頃までにはほとんどの色がしっかりと見えるようになるそうです。1歳半頃からは、それぞれの色を認識し始めると言われています。色の名前を理解し始めるのは2歳半頃から概ね3歳頃と言われ、赤、黄、青、緑色といった原色を理解しているそうです。幼児向けの絵本に原色が使われていることも理解できます。やがて、日常の生活を通して、濃淡や色使い、模様など、様々な色への認識が深まっていきます。本校の児童・生徒の目には、どのように色や形が映っているのだろうか、時々考えさせられます。

本校では、図工や美術、生活単位といった教科等での、色を学ぶ機会を大切にしていますが、今回の第24回運動会に向けた装飾や衣装作りは、その大切な機会となりました。演技をご覧いただき、各学習グループで色使いが異なっていたことに気付かれたでしょうか？小学部の児童は、白地のTシャツに絞り染めを行い、オリジナルTシャツを作成しました。中学部の演目は、「花笠音頭」「八木節」「よさこいソーラン」と、各地の祭りの音楽や踊りを元にしておりましたので、中学部の生徒は、黒地のTシャツに白字の「祭」の一文字をあしらったTシャツを作りました。「祭」の一文字は、書に秀でた教員の作品を使用しました。真っ黒のTシャツを着て全員で演舞する姿からは勇ましさを感じました。花笠も鳴子も手作りで、着色はタブレットのアプリを使ってデザインしていました。

地面を覆っている黄色く染まった銀杏の葉を手にとって見るなど、自然の色に触れることは、子どもの成長のためにとても大切なことです。秋から冬は、空気が澄んでいて、晴れている日には真っ青な空が見られます。夜は星もより輝いて見える季節です。お子様との感動する機会を大切にしてください。

次の頁に、校内で職員の方が作成した児童・生徒向けの作品を紹介いたします。年中行事や学校行事に合わせて作られたものです。折紙の作品は、児童・生徒の給食トレーの上に置かれていたもの（昨年度と最近のもの）を集めてみました。粘土の作品は、夏から秋にかけてのものです。



1



2



3

①～②は、給食調理員さんの折紙作品です。給食のトレイについてきました。

③～⑦は、用務主事さんの紙粘土作品です。エントランスにあります。子どもたちは色・形を楽しんでいます。触ることができます！！



4



5



6



7



6の拡大

「西新宿小学校交流」

10月18日（金）に、本校小学部1～3年生と西新宿小学校4年生が、本校にて学校間交流を行いました。6月末に1回目の交流を行い、約4カ月ぶりの再会となりましたが、子供たちはグループ活動やボッチャなどを通して、楽しく過ごす様子が見られました。グループ活動では、西新宿小学校の児童が考えてきたゲーム（魚釣りや双六、ボウリングなど）を行い、互いにコミュニケーションを取りながら楽しむことができました。ボッチャでは、新宿養護の児童の投球の上手さに何度も歓声が上がる場面がありました。最後には、「世界中の子供たちが」を全員で円になって大合唱し、元気な声が体育館に響きました。



「5・6年生宿泊体験学習」

小学部では5年ぶりに宿泊行事が再開することになり、5・6年生が一泊二日で宿泊体験学習を行いました。宿泊先は、戸山サンライズ。施設の見学先は、アートアクアリウム美術館 GINZA と新宿区立障害者福祉センターです。アートアクアリウムでは、プロジェクションマッピングと音楽が流れる素敵な空間にいる金魚たちの展示に、顔や手を近付けて見入っている姿が見られました。福祉センターでは、一人一人が手作りの葉書を購入しました。その後、楽しかったことやお弁当のお礼などを葉書に書いて、「届けてね。」の気持ちを込めてポストへ投函しました。戸山サンライズでは、ゆったりとした時間を過ごしました。

帰りのバスや事後学習での子供たちの言葉や表情から、楽しかったことが伝わり、楽しい思い出の一つになった宿泊体験学習でした。学校とは違った環境の中、いつもより長い時間友達や教職員と過ごし、集団活動に取り組んだことは、今後の生活の学びにもつながることと思います。今後も続く宿泊体験学習の中で、今年度のことを活かし、活動に取り組んでいきたいと思います。保護者の皆様には、御理解とたくさんの御協力いただきありがとうございました。



研究部より

「2学期の研究について」

今年度の研究テーマを「アセスメント」とし、1学期から講師を招き、研修会を実施してきました。夏季休業中から2学期にかけては、物の見え方や学習に向かうための正しい姿勢に関することや、体の調子を整えるストレッチの方法について講師を招き、研修会を実施しました。

夏季休業中の8月2日には、1学期にも講師として来ていただいた先生をお迎えし、アセスメントに加え、学習と学習時等の姿勢の関係や正しい姿勢をとり、活動を行うことの重要性を学びました。また、10月16日の研究日には、本校の理学療法士の先生を講師としてお迎えし、学習活動に向かうために、体の調子を整えるストレッチの方法を学びました。日々行う体の取り組みの重要性を改めて学び、教員同士でストレッチの実習を行いました。

